

内容

* イギリスにおけるリカバリー研修ツアーの報告(5)

○ リカバリー機構のサービスにおける利用者と介護者の役割を考える(2)

ジュリーさん

* イギリスにおけるリカバリー研修の報告(5)

○ リカバリー機構のサービスにおける利用者と介護者の役割を考える(2)

ジュリーさん

ここからはピアサポートについて話していきたいと思います。

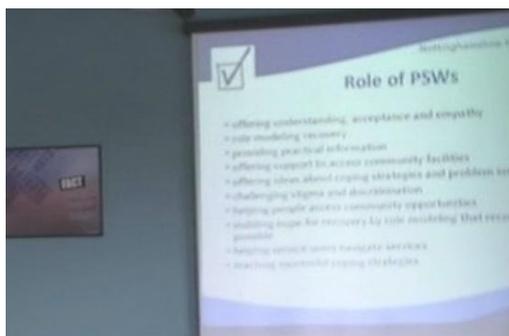
ピアサポートを単純に定義付けることは難しいです。メンタルヘルスの問題を経験した事のある人が、同じような経験を持つ人の手助けをするということですね。でも以前から互助というのは有りました。そして自助グループというのは一般的にあります。ピアサポートと自助は活動としては基本的に同じですが、ここでいうピアサポートは有給で雇用関係が生じている形態になります。

ピアサポートは経験を分かち合うということで、それはお互いに互助的な意味合いを持つもので、「ギブアンドテイク」というお互いに色々な事を与え合うという特徴があります。専門家が与えるという様な関係性ではありません。リカバリープロセスを考えた場合、ピアサポートワーカーはこれからサポートしようとしている患者さんの一つ先に進んでいる状態になります。ですから自分の経験から患者さんに教える事が出来るわけです。患者さんにとって同じ経験をした方からの教えは共感を持ちやすいわけで、これが最大の利点です。

患者さんが色々な形で組織に係わることと、ピアサポートワーカーが患者さんに係わることは基本的に別のことです。ピアサポートワーカーは自分の経験をオープンにして、患者さんにリカバリーの在り方を教えていくことが重要な業務になります。急性期で入院してきた患者さんに、ピアサポートワーカーが「私も同じような状態で入院したけど、今はこの様に元気に活動していますよ」と伝えることで、患者さんは凄く勇気と希望を得る事が出来ます。

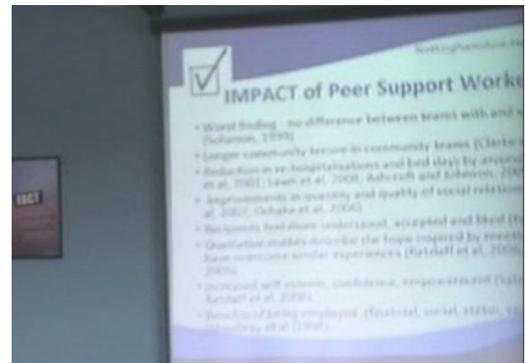
これからピアサポートワーカーは具体的に何をするのか、について話していきます。

先ず患者さんに対して理解を示すことです。そして患者さんにとってピアサポートワーカーは自身のリカ



バリーの具現化な訳です。実際にこれが上手くいって、これも上手くいったということを実際に教えていくことが出来るのです。ピアサポートワーカーは患者さんと環境が似ていたり地域性も似ていたりするところがあるわけで、何処にコミュニティが有ってここに行くとか何らかのサポートが受けられるという様な資源を教える事が出来るのです。この様にすると上手く対応できるよ、という様なことを教える事が出来ますし、問題解決方法の共有をすることも出来ます。またサービスの使い方も複雑なので、そのアクセス方法や使い方を教えることも出来ます。

7-8 か月前にピアサポートワーカーの雇用は始まりました。そしてピアサポートワーカーと患者さんの話というのは、専門家との話と比べるとかなり違ったことを話している事が分かりました。例えば患者さんが混乱し慌てたり感情的になっているようなとき、ピアサポートワーカーはそんなに慌てたりしないで冷静に患者さんに対処しています。これは患者さんがどの様な事なのかピアサポートワーカーが理解しているからと思われる。この様な事の報告事例は殆どアメリカからの報告でイギリスにはありません。

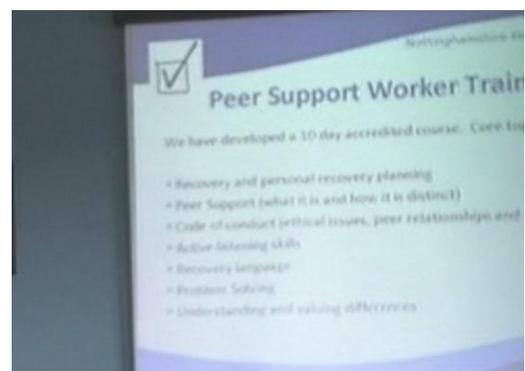


実際の報告事例で最悪のものは何か？という、それは何も変化しないということです。その他の報告では何らかの変化が起きています。そして最も効果が有った事例は患者さんの入院を防いだということで、その確率は5割に達しています。

何故この様にピアサポートが再入院を減らす事が出来るかは、当事者自身が症状をどの様に管理していくかということ学ぶからと考えられます。またピアサポートを受けている当事者たちはネットワークを拡大しているという状況もあります。そして当事者たちは、専門家のサポートを受けるよりピアサポートワーカーの方が、自分自身が受け入れられているような気がしているのだと思います。

またピアサポートワーカーとして雇われた人は、自身がその仕事を得ることによって利点を得る事が出来ますのでピアサポートワーカーを有給で雇用するという事は、とても意義のあることだと考えています。そしてピアサポートワーカーを採用することで、他の職員の態度も変えることとなります。

ピアサポートワーカーを採用するにあたり、研修する必要性が出てきました。そこで10日間の認定コースというものを設定しました。これは大学1年生が学ぶ内容に匹敵していると認定されているコースであり、単位を1つ取得したと認定されます。



私はアリゾナで研修も受けましたし、色々な研究論文も読みました。そして独立したサービスユーザーと共同でこの認定コース作成のために働きました。

次のような内容が研究の中に含まれています。最初にやらなければいけないことは、個々のリカバリー計画を作ることです。リカバリー計画とは、その人の良い状態がどの様にしたら保てられるか、どの様なことが有ると良い状態が保てなくなるのか、ということが含まれます。これはどの様なことが有ると悪くなるのか、また良くなるのか、ということを明確にする必要が有るわけです。そして何か起きたとき、自分自身がその事によりどの様な事になるのかということ認識していないといけないのです。

また症状を対処していくのと同じように、自分のライフスタイルであり目標を達成するということを忘れないことがとても大切なことです。

この様に認定コースではリカバリー計画が大切であるということ学びます。それと研修のやり方・方法、問題解決の技法を学びます。リカバリーの文脈のなかでの用語使い、物の見かた言葉の使い方を学び、

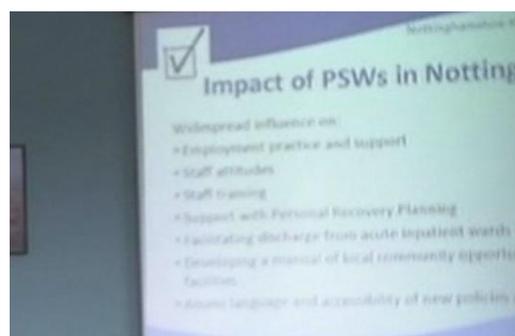
常に原点に戻りながら学んでいきます。また自分の問題をオープンにするということも学びます。そして自分の問題を経験として、スキルとして使っていくということなのですが、これは凄く難しい技術なのです。

またピアサポートワーカーの難しい点の1つとして、専門家と当事者の関係はルール化できる明確な関係性が有りますが、ピアサポートワーカーと当事者との関係性は明確ではありません。我々MHSには50程の組織が含まれており、その中の6組織でピアサポートワーカーの認定コースが活用されています。また認定コースの指導者となるピアサポートワーカー・トレーナーという方も育てていまして、このトレーナーになる方も元は当事者の方で、その経験を活かしている方たちです。

(シェパード) トレーニングの効果は、その後スーパービジョンがどの様に行われていくかというスーパービジョンの質に大きく関わってくる、ということが色々な研究で言われています。

当事者に研修をした後に正しいスーパービジョンを受ける余裕が有るのであれば研修をしても良いのですが、もしスーパービジョンを受ける余裕がないのであれば、当事者に研修をするのは止めなさい。ということです。

(ジュリー) 現在我々の組織には30人のピアサポートワーカーが雇用されています。そしてピアサポートワーカーのトレーニングを行うなかで人事に対する考えにも変化が有り、職員に対するメンタルケアも改善されました。またピアサポートワーカーを雇ったことにより職員たちの態度が変わりました。そして職員にその様な変化が生まれたことに組織として大変驚いています。



ピアサポートワーカーが、攻撃性などに対する対処の仕方をトレーニングした方が良いのではないかとこの提案を受け実施しています。より多くの方がリカバリーに関与していく、より多くの方がリカバリープロセスに関与していくということです。

そして退院プロセスもピアサポートワーカーがいることで、大変スムーズになっています。退院した後もピアサポートワーカーが自宅を訪問しサポートするというのを、地域支援の一環として病院が行っており大変有効です。

患者さん側から見て世界をどの様に改善できるか、という視点をピアサポートワーカーは出して来ています。

(参加者) 患者にとっても家族にとってもとても嬉しい結果だと思いますが、職員の方たちはどの様なメリットが有るのでしょうか？

(ジュリー) 専門職が出来ないことをピアサポートワーカーがやってくれているので、とても助かっています。しかし専門職で無いアシスタント的な立場の職員は、職が失われるのではないかと非常に危機感を感じています。

(参加者) 実際にアシスタント的な職の方が退職されたことは有りますか？

(ジュリー) お辞めになったことは有ります。でも退職を迫ったことは有りません自己都合と聞いています。その代わりとしてピアサポートワーカーを雇用したことは有ります。でもこの理由は組織の経済的問題から来ることで、例えば専門職の職員が退職した場合でも人員を補充するのは難しいのが実情です。ピアサポートワーカーの給与はかなり少ないです。でもそれは職員と同じ給与体系で特に差別している訳ではありません。

(シェパード) ピアサポートワーカーはチームに1人在籍するより2人以上在籍している方が良い結果が出ます。そしてアシスタントが1名退職するとピアサポートワーカーを給与的には2名採用する事が出来ま

す。これには理由が有り、多くのピアサポートワーカーはパートタイムを希望しているからです。それには幾つか理由が有り、先ず体調的に長時間勤務が難しいこと、次に福祉給付金の問題が有ります。福祉給付金はパートタイムでの減額は無いのですが、フルタイム勤務の場合は減額されます。

(ジュリー)ピアサポートワーカーは働けることに意義を見いたしていることと、患者さんから感謝されることに大きな喜びを得る事が出来ています。実は6人のピアサポートワーカーのヒヤリングをしてみました、その中には沢山の課題を見つける事が出来ました。

(シェパード)ピアサポートワーカーを雇用するという事は大変新しいシステムです。少し間違うと大変な方向に行ってしまう可能性が有ります。そこで色々試行錯誤しながら行っています。

(つづく)

【ケンブリッジ市内】

